

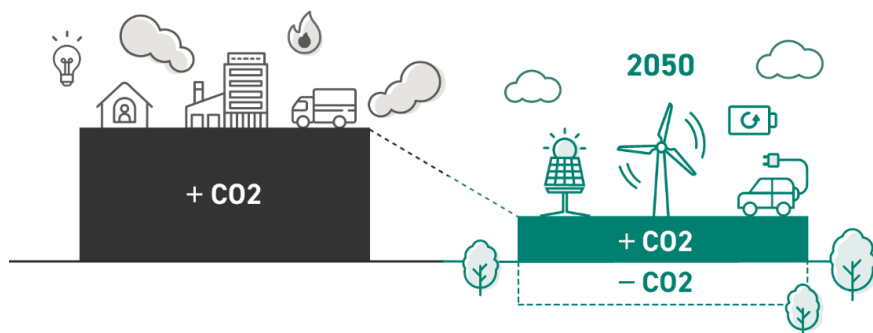
～ 環境に優しい土幌町を目指して ～

最近、「カーボンニュートラル」という言葉を各メディアで目にする機会が多くなってきたのではないのでしょうか。今回の環境ニュースでは、カーボンニュートラルとは何なのかをご紹介します。

カーボンニュートラルとは ～「温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること」

令和2年10月、菅内閣総理大臣は臨時国会の所信表明演説で「2050 年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

これは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。



土幌町でも太陽光やバイオガス発電による再生可能エネルギーの利用により、温室効果ガスの排出量を減らす取り組みを進めています。

ゼロカーボンアクション 30

カーボンニュートラル宣言を受けて、2021 年 6 月に「地域脱炭素ロードマップ」が取りまとめられ、その中で衣食住・移動・買い物など日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリットが整理されていますので、いくつかピックアップしてご紹介します。

	アクション	暮らしのメリット
電気等のエネルギーの節約や転換	③節電(不要時のスイッチ OFF)	光熱費の節約、火災等の事故予防
居住関係	⑧太陽光パネルの設置	自宅に電源を持ち、余剰分は売電
	⑭働き方の工夫(テレワーク・休日分散)	通勤等による移動時間・費用の節約、身体的な負担軽減、観光地等の混雑緩和
移動関係	⑯ゼロカーボン・ドライブ(再エネ等燃料・EV 車等)	畜電池としての活用、ガソリン代のコスパ向上
食関係	⑮食材の買物や保存等で食品ロス削減の工夫	食費の節約、家庭ごみの減量、過食・飽食の抑制、健康維持、フードバンク等への寄付による生活困窮者支援
	⑳自宅でコンポスト	生ごみの減量、環境教育推進活動、家庭菜園等への活用
衣類、ファッション関係	㉑今持っている服を長く大切に着る	体型維持、リメイク等による楽しみ、綺麗な管理によるリサイクル
ごみを減らす	㉒マイバック、マイボトル、マイ箸、マイストロー等を使う	家庭ごみの減量、物への愛着、環境に対する気持ちの表現
	㉔フリマ・シェアリング	購入・維持費用の節約、収入につながる
買い物・投資	㉘脱炭素型の製品・サービス	環境配慮マークがついた商品等の選択により環境負荷低減に貢献
環境活動	㉚植林やごみ拾い等の活動	環境に対する気持ちの表現、取り組みの輪の広がり

いかがでしたでしょうか？日常生活で気軽に始められるアクションもありますので、是非出来ることから始めてみましょう！

土幌町においては、これまでも再エネの導入や環境配慮による取組を進めてきましたが、今後も一層脱炭素社会の実現に向けた取組に努めていきます！